

○いたくら 議会だより

〔今月の主な内容〕

議長・副議長決まる.....	2 P
議会構成が変わりました.....	3 P
3月定例会.....	4 P
一般質問.....	7 P
町政へ一言.....	14 P

2005 6 / 1 第93号



～注射、痛かったかい～
犬の登録と狂犬病予防注射が5月に各地区で行われました。
「りり、注射痛かったかい?」「ううん、お兄ちゃんたちと一緒にだったからガマンしちゃったよ。強いでしょう!これからは毎年つれてきてワン。」



5月 臨時議会

議長・副議長が選出されました

議長に

古橋泰治氏

副議長に

荻野美友氏

平成17年第1回板倉町議会臨時会が5月9日(月)に開催されました。

正副議長の選挙が行われ、議長に古橋泰治氏が、副議長に荻野美友氏がそれぞれ選出されました。また、これと同時に各常任委員の指名及び委員長・副委員長の選任、一部事務組合議会議員の選挙も行われました。

この他には、町から提案された2件の議案が原案可決されました。

可決議案

専決処分事項の承認について(板倉町税条例の一部改正)
群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議について

議長・副議長就任あいさつ

副議長 荻野美友



議長の補佐と町の活性化に努力

議長 古橋泰治



厳しいなかにも生き活きとした町づくりを

このたびの臨時議会において議長に選任されました。内外共に厳しい折、その責務の重大さを痛感しております。全国の市町村を揺るがした合併問題も特例法の期限を過ぎて、ひとまず一つの区切りがつき「合併」と「自立」をそれぞれ選択し二分化しました。本町は「自立」を選択したわけですが、今後一層厳しい状況をかえらざるにやみません。議会と行政側としっかり議論をしながら相互理解を図り、この難局を乗り越えていかねばならないと思っております。

今、町の最大課題は自主財源の確保と雇用あるいは地域活性化のための企業誘致であります。現在推進中の岩田流通団地については、地元の意味を汲みとりながらの早期実現を期待したいと思えます。議会では、行財政改革の一環として議員定数削減に着手しました。今後、検討を重ね結論を出すこととなります。地方自治の使命は住民の生活環境整備と豊かな文化的生活を送るための行政サービスを提供することにあります。厳しい状況の中、その使命に向けて努力する所存です。町民皆様のご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。ため地域の特性や実情を踏まえた主体的な行財政運営を行い、町の活性化を図ることが必要不可欠であると考えております。そのため、隣接市町との結びつきを強化し且つ多大な経済効果をもたらすであろう主要幹線道路の整備促進と、板倉ニュータウンの早期定住化の実現に向け力を注いで参ります。微力ではありますが与えられた職責を十分認識し、町民一人一人の幸せを目指し誠心誠意尽くしてまいります。

議会の構成が変わりました

議会構成人事案件

板倉町議会議長の選挙
5月9日(月)の臨時会において、青木佳一議長から議長辞職願が提出されました。辞職が許可され、議員投票の結果、古橋泰治氏が議長に当選しました。

板倉町議会副議長の選挙
議長選挙に続いて、古橋泰治新議長のもと、江田音吉副議長の辞職願が許可され選挙を行いました。投票の結果、荻野美友氏が副議長に当選しました。

常任委員の指名
板倉町議会には3つの常任委員会がありますが、各委員は議長が会議に諮り指名されることとなっています。議員の申し合わせ事項により、各議員の希望をとり、選考委員によって協議の結果、議長が指名しました。

常任委員長及び副委員長の選任
委員会条例の規定により、各委員会で互選のうえ、選任

されました。

議会運営委員の選任
申し合わせ事項により、各常任委員会より2名ずつ(ただし1名は常任委員長)を選任し、議長が会議に諮って指名しました。

一部事務組合議会議員の選挙
一部事務組合として次の5つの組合があります。

- 邑楽 館林医療事務組合 館林衛生施設組合 館林地区消防組合 館林邑楽農業共済事務組合 東毛広域市町村圏振興整備組合

これらの一部事務組合議員の辞職に伴い、新たに組合議員の選挙が行われました。選挙方法は、議会運営委員会で選考し、指名推薦により行われました。

議 会 構 成

議 長 古 橋 泰 治 友
副議長 荻 野 美 友

環境福祉常任委員会

委員長 秋山 豊子
副委員長 石山 徳司
委員 青木 佳一
委員 鈴木 敏雄
委員 野中 嘉之
委員 市川 初江

産業建設常任委員会

委員長 江田 音吉
副委員長 黒野 一郎
委員 川田 安司
委員 塩田 俊一
委員 荻野 美友
委員 青木 秀夫

総務文教常任委員会

委員長 小島 昭男
副委員長 宇治川利夫
委員 根岸 昭雄
委員 根岸与士雄
委員 石山甚一郎
委員 古橋 泰治

議会運営委員会

委員長 青木 佳一
副委員長 塩田 俊一
委員 根岸与士雄
委員 江田 音吉
委員 秋山 豊子
委員 小島 昭男

一部事務組合 選出議員

邑楽館林医療事務組合議会議員 小島 昭男
館林地区消防組合議会議員 黒野 一郎
館林衛生施設組合議会議員 秋山 豊子
館林邑楽農業共済事務組合議会議員 野中 嘉之
館林地区消防組合議会議員 市川 初江
館林邑楽農業共済事務組合議会議員 市川 初江
東毛広域市町村圏振興整備組合議会議員 江田 音吉
石山 徳司
荻野 美友
古橋 泰治

17年度一般会計予算48億8,100万円を 全会一致で可決しました

平成17年第1回定例議会が、3月3日(木)から14日(月)まで12日間の会期で開かれました。この定例会では平成17年度一般会計及び特別会計など27議案の審議を行い、いずれも原案どおり可決されました。

また、この他に1件の陳情と議員発議による案件が審議されました。定例会での各議員の行った予算質疑と一般質問の内容についてお伝えします。



平成17年度 会計別予算規模	
一般会計	48億8,100万円 (55億2,400万円)
特別会計	37億4,551万1千円 (37億7,755万4千円)
老人保健	13億2,972万5千円 (13億6,523万6千円)
国民健康保険	14億3,120万1千円 (14億0,307万0千円)
介護保険	6億7,088万6千円 (6億7,230万7千円)
下水道事業	3億1,369万9千円 (3億3,694万1千円)
水道事業会計	3億6,247万1千円 (3億5,910万8千円)

()内の数字は平成16年度予算額

前年対比6億円以上の縮小予算 一般会計歳出の主な内容

- 民生費 10億5,311万4千円
- 福祉センター冷暖房設備修繕工事費 社会福祉運営補助金 広域入所児童委託費
- 教育費 7億735万7千円
- 西小学校耐震補強大規模改修工事費 東小学校教室改修工事費 中央公民館屋上防水改修工事費
- 総務費 6億4,642万5千円
- 住民センター建設補助費
- 総合行政ネットワーク(LGWAN)事業費 町政施行50周年記念事業費
- 土木費 5億9,674万6千円
- (仮称)川入東地区土地区画整理組合支援事業 町道整備事業(新たに6路線など)
- 衛生費 4億3,940万9千円
- 住民健診・乳幼児健診・がん検診事業費 各種予防接種事業 ぐみ処理事業費
- 農林水産業費 2億4,871万円
- 五箇谷地区土地改良調査委託料 農道工事費 第1、第2排水機場管理事業費
- 消防費 2億4,951万4千円
- 館林地区消防組合負担金 地域防災関係活動補助金
- 商工費 3,991万5千円
- 揚舟運航事業費 商工会運営補助金

町長

施政方針 (抜粋)

厳しい財政、みんなで支え合う

平成17年度予算では冬の到来を思わせるような予算編成を余儀なくされました。厳しい財政状況の中にあっても、町民生活の安定、向上を図り、将来に向けた持続的な町政発展を目指してまいりたいと考えております。あわせて財政の健全化も堅持していかねばなりません。

町民の社会福祉、社会保障及び公衆衛生などの生活に直結するもの以外につきましては特に重点的に見直しをいたしました。反面、補助金の削減や利用料、手数料、使用料など町民の方に一部負担いただく部分も出てまいります。

極力基金の取崩しは抑えていくことを基本に、歳入に合わせた予算規模に縮小いたしました。

他方、人件費の削減にも着手しました。私は当然でございますが助役、収入役、教育長の給料の減額。職員につきましても、手当の削減、臨時職員の削減、委託事務の圧縮などに着手しました。

その中であって町として50年の節目を迎えるに当り、町制施行50周年記念事業費を計上させていただきます。かつての村社会に見られたみんなで支え合う、助け合う、また人材を育てるといった強力社会の実現を願っております。原点に立ち返り、立町の精神をもう一度認識すると同時に、地方自治体としての板倉町のあるべき姿を模索したいと考えております。

Q 野中議員
町長公約のなかで、政策状況をチェックする監査機関を

A 助役
財政とラップすると難しいが、制度上総合計画はつくらざるを得ないもの。また今般都市計画法の改正によりマスタープランが策定された。これも当初計画しておかないと途中で必要だからとしても認められない制度上のシステムを理解いただきたい。

Q 荻野議員
地元が一生懸命とまつて陳情しても先送りという現状で、財政が厳しいと言われながら、まちづくり実施計画にはハードな事業が組み込まれて計画されているが。

A 町長
請願・陳情は住民の権利であるため受理しないわけにはいかない。例えば地域ごとに何処が必要な箇所なのかを十分検討し対応したい。

【予算質疑】

議会最終日の3月14日(月)に17年度予算についての質疑が行われました。

16名の議員が

建設、防災、財政

環境、教育などに

ついて幅広く

質問をしました。

Q 鈴木敏夫議員

衛生費の住民健診委託料が昨年度予算より減額された要因と一人当りの単価は。またがん検診料および負担額は。

A 町民生活課長

一人当りの基本健診単価が2,800円に下がったことが減額の理由です。がん検診料の内容は、胃がん3,900円、子宮がん3,700円、

Q 石山(甚)議員

防犯灯新設工事費と道路反
射鏡設置及び補修工事費の内
容は。
肺がん2,600円、乳がん
2,780円、大腸がん1,
690円等委託経費はまちま
ちですが一律800円の個人
負担を予定している。

A 環境課長

防犯灯は1基25,000
円程度を15予定している。反
射鏡は既存のものへの修繕費
として充てている。

Q 石山(徳)議員

情報化推進事業の総合行政
ネットワークの実際の効果と

A 企画財政課長

目的は。

LGWAN事業ということ
で国と県と市町村がITで結
ばれ、情報交換ができ、将来
的には紙でなく電子行政の目
的に進められている。しかし
ICカードもまだ1%にも満
たない状況であり、町民が理
解しないと発展性はまだ見え
てきていない。だが、国の政
策でもあるので今、県と共同
で電子申請の形を研究してい
る。

Q 根岸(昭)議員

予算には10件の道路改修工
事が計画されているが、請願・
陳情による採択は100件近

設置すると言っていたが、いつ頃、どんな内容で設置するのか。

A 町長

現時点においては具体的にまだ考えていない。チェック機能は必要なので極力早めに考えていきたい。

Q 宇治川議員

新聞等で見ると、起債を起ささないで予算を立てている自治体が県内8カ所あるという。当町は3億2千万円強の町債という予算立てだが。

A 企画財政課長

大きな事業で国庫補助があつて、なおかつ起債を借りられる事業では交付税が全額入らないまでも最低半分は入ってくるものと考え、その借入利息を考慮しても得策であると判断し予算編成をした。

Q 塩田議員

新センター地区用地として土地開発公社が先行取得した土地は、もうすでに10年以上経過している。このままだと不良債権というお荷物にならないか。また除川県道を挟んだ東側の現在耕作している土

地も、凍結後何ら意思表示がされていないが。

A 助役

行政センター計画は非常に難しくなってきたことから、現在更地で貸借できる方向で動いている。また、除川線東側の用地取得については現時点で、5年の凍結後においても無理という形を言わざるを得ない。

Q 黒野議員

文化財保護費が大きな予算措置だが、保存管理整備計画での早くやらなければならぬ内容は。

A 教育委員会事務局長

文化的景観保護調査事業で文化庁から強い勧めがあり、国の補助率50%、県15%という事業である。谷田川周辺の川田・沈下橋・排水機場など歴史的背景の調査研究を国の選定に合わせ、2年計画で行うものである。

Q 青木(秀)議員

財源確保にはニュータウン販売による税収アップが考えられるが、17年度予算のなかにどのように絡めていくのか。

A 町長

新たな商品販売として極力駅に近い場所の造成と、業務用地を何らかの方法で生かすことを検討しながら販売に努力したい。

Q 根岸(与)議員

情報文化の先端としてケーブルテレビの普及が盛んになり、既に栃木テレビが町内に入ってきているが町の対応は。

A 企画財政課長

町の総合計画のなかにもIT促進として位置づけられ、光ケーブルテレビとの連携を図って、町内を光ケーブルで結べればと思っている。

Q 川田議員

国の機関委任事務が廃止され、町の国民年金徴収事務がなくなつたと思つが、予算計上に見合う主な内容は。

A 町民生活課長

年金の取得、喪失、年金相談等ももろの事務を扱っている。仕事量としては0.5人分位である。

Q 秋山議員



デジタル放送では多種多様な番組がみられる

町営住宅の入居条件と現在の入居状況および緊急時等の対応は。

A 建設課長

収入基準、滞納があるか、町内在住あるいは勤務しているか、住宅に困窮しているかどうか。全17戸のうち、東地区1戸の空きがある。緊急時入居は条項により必要期間入居可能である。

Q 古橋議員

17年度予算計上されなかった中学生海外派遣事業、ユニセフ・ラブウォーク等々、針ヶ谷町政の目玉だったとも思えるが。

A 町長

事業の縮小、廃止はやむを得ない。ここ2〜3年は我慢をして推移をみていきたい。

Q 江田議員

東小学校の耐震関係予算が計上されていないが、災害時など避難所として耐震能力があるかどうかの調査はするべきではないか。

A 町長

16・17年度と西小学校の耐震工事を行い、こちらをきちんと終わらせてからと考えていた。大事なことと理解しているので今後早急に検討したい。

Q 小島議員

下水道事業での雨水混入問題で、普通公共的な事業というのは指名参加願から出してきたこととした仕事をした業者にしか発注しないという流れのなか、入札にも関わっている上層部としての立場の考えは。

A 助役

下水道事業の場合、大手業者がニュータウン関連で入った事業と認識する。工事ミス等によるものかどうかの判明には今後も調査徹底したい。

一般質問

議会 2日目
3月4日(金)

青木秀夫 議員



保育園統合新設計画は前倒しで!! 毎年8,000万円もの経費節約となる



元気に遊ぶ園児たち(板倉保育園で)

保育園統合による 経費節約の効果は

問・3保育園を1園に統合し
しかも公設民営とした場
合、職員の出遇等、いろ
いろな問題が発生すると
思いますが、概算どのくらい
の経費節約となるのか。
答・福祉課長 事業費等の削

減、国の補助金により17
年度予算に対し約8,0
00万円の削減となる。

問・毎年約8,000万円も
の経費削減となるのであ
れば、2億5,000万
円程度の保育園建設投資
は3年で回収できること
になる。前向きな投資と
なる保育園統合計画は、
先送りではなく前倒しに計
画変更すべきでないか。
答・町長 板倉町次世代育成
支援行動計画策定委員会
の検討の中で、3園を統
合して、ニュータウン区
域内に新設移転という計
画が出ている。町のため
にプラスとなるのであれ
ば、早急に対処したいと
考えている。

館林厚生病院の
200億円移転計画は

問・館林厚生病院の200億
円移転計画については、

以前から新聞報道等であ
るいろな情報が飛び交っ
ているが、計画は山に例
えれば何合目くらいまで
進んでいるのか。

答・町長 館林厚生病院の移
転はいろいろあった。予
算の関係でいわゆるPFI(注)予
算の関係でいわゆるPFI構
想というものが出来て
きて、PFI方式がベ
ターではないかという方
向になっている。従来方
式とPFI方式の違い、
各市町の負担金の動向、
新病院のメリット等を明
確にしないと最終的な判
断はつかないということ
で、その作業を急いでい
る。大事なことはそれぞ
れの市町に議会があり、
きちんと説明をして、

ゴーサインが出た上での
決定でないとまずいと考
えている。

(注) PFI構想
プライベート・ファイナンス
Private Finance Initiative
民間資金や民間事業者のもつ創意工
夫・運営能力を活用する事業手法。

PFI導入は検討中か

問・16年度3月作成のPFI
導入可能性調査報告書に
よると、PFI導入は決
定しているようだが、執
行部間ではまだPFI導
入決定まで踏み込んでい
ないのか。

答・町長 PFIでいくのか
という決定はまだしてい
ない。方向的にはそうい
う方向がベターなのか
という感覚はもっている
が、まだ最終決定はして
いない。

北小学校方式の 国語教育を

問・すべての教科学習の土台
は国語であるという北小
学校国語教育への取組み

方が2月広報14ページに
載っている。国語といっ
ても幅広い。漢字の読み
書きを中心にした北小学
校方式の国語教育を町内
小中学校へ普及させるべ
きでないか。

答・教育長 今年度、国語に
ついての研修を各校で
やっている。国語学習に
ついては、読み書きを重
点的にした取組みをして
いる。

経費削減のための 投資は前倒しで

(意見) 3保育園統合、
ニュータウン内に新設移
転、運営は民営化で毎年
8,000万円の経費節
減は、保育園新設計画2
億5,000万円を3年
で回収することになる。
しかもニュータウン販売
戦略の一助にもなると思
う。そうであるならば、
保育園統合新設計画を先
送りではなく、前倒しに変
更しても早急に進める
べきである。

一般質問

議会2日目
3月4日(金)

秋山豊子 議員



例会
3月 定議

児童虐待、ドメスティック・バイオレンス ひきこもり等の相談窓口設置を

だれでも相談できる
窓口の早急な設置を

問・児童や高齢者の虐待、ドメスティック・バイオレンス、引きこもりなど、いつ事件や事故が起きてもおかしくない今の現状を見ると、本町において誰もが相談できる窓口を早急に設置すべきではないか。

答・町長 各関係機関等と連携を図りながら、相談内容に応じ対応してるところである。窓口の設置は人的配置及び専門的知識も必要なので今後十分検討していきたい。

問・虐待情報に対する事実確認の方法については、どのように対処しているか
答・町長 虐待的な要素がある場合には、児童相談所

または、民生委員のなかの主任児童委員で対処している。

問・基本的対応、早期発見のチェック項目、発見から援助までの具体的な流れはどのようなのか。
答・福祉課長 身近にいる民

生委員に相談し、福祉課サイドでは、子供は児童福祉係、お年寄りが高齢福祉係、介護に伴うものは介護の方で対処している。また専門分野の社会福祉士、保健師が配置され対応している。



子どもたちのあどけなさは世界共通

安心して生み育てられるために
無料妊娠健康診査券を

問・本町の少子化に歯止めをかけるためにも、妊婦の無料健診の回数を増やし安心して生み育てられる環境づくりの考えは。

答・町長 町では妊娠一般健康診査前期・後期2回の定期健診費用を全額負担している。1人当たり1回増やすと、全体で60万円程の負担増となる。大事な町の予算を使うわけなのでよく検討し対処したい。

聴覚障害者にも
わかりやすい通信情報整備を

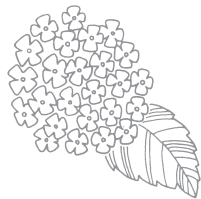
問・聴覚障害者の通信情報入手手段として「広報いたくら」を初め、各部門において、問い合わせ先のファックス番号記載は可能か。

答・町長 「広報いたくら」等の各種問い合わせ先にファックス番号を記載することは十分可能であり



少子化に歯止めを

ファックスと合わせて電子メールの宛先を掲載し、聴覚障害のある方を始め、町民全体のサービス向上に向け情報提供していきたい。



一般質問

議会 2 日目
3 月 4 日(金)

宇治川利夫
議員



ゆとり教育の結果が 学力低下の原因ではないか

国の標準授業時間数に対し
板倉町の小中学校は

問・近年のゆとり教育方針・



体育の授業は鉄棒です(西小学校で)

問・単に知識量を増やすため

答・教育長 小学校の場合、特別活動を含めた時間数で5,373時間、中学校は2,869時間となっている。問題点は、中学3年生の卒業式が早すぎで、授業時間が少ない状況にある。この点は、県教委と歩調を合わせ見直すことになっている。

問・単に知識量を増やすため

答・教育長 小学校の場合、特別活動を含めた時間数で5,373時間、中学校は2,869時間となっている。問題点は、中学3年生の卒業式が早すぎで、授業時間が少ない状況にある。この点は、県教委と歩調を合わせ見直すことになっている。

週休2日制導入の結果、小中学生や高校生の学力低下が顕在化し、問題視されるようになってきた。これを受け、文部科学省は標準授業時間数の見直しに入ったと聞く。国の標準授業時間数は、小学校5,367時間、中学校2,940時間と報道されている。板倉町の授業時間数はどのくらいか。

答・教育長 ゆとり教育の目指すものは、子供に生きる力を付けることとなっていて、非常に幅の広い学力観に根ざした捉え方となっている。然るに学力低下と称される観点は、測定可能な面が浮き彫りになったと解される。当然、測定可能な学力は生きる力の基礎・基本であり、町の生きる力を育てる教育方針を根底から支える部分でもある。今後も基礎・基本を学ぶことが重要で、少数の学習強化や家庭学習

の授業時間の増加では以前の詰め込み教育の再来となり、現在のゆとり教育と矛盾し混乱を招くことになるのではないかと教育長の考えを聞いた。

問・生きる力は、学力向上により強化されるといふことだが、太田市なども20人学級制を取るといふし、他市町村でも少人数学級制を取ると報道されている。一方、少人数教育は教員の確保を意味し、町の財政支出増加と直結する。財源はどうするののか。

答・教育長 北小、南小では児童の減少も加わり、一学級25人体制を10年以上も続けてきた。町の財政は厳しい状況にあることを念頭に置き、必要な予算は県に要求して教員の確保を強力に進めていきたい。

問・昨年は台風が多く上陸し各地で水害が発生した。更に、紀伊半島や中越地方に大地震が起きて大災害になったりと、日本は自然災害と縁の切れない国だと痛感させられた。そんな背景の中で予算措置を見ると、防災関連予算が削られている。安全確保に対する基本方針をうかがいたい。

答・町長 防災補助金は防災組織を作り、初期消火訓練、普通救命講習会を実施した行政区に、助成金を支払う制度である。防災組織の根本は、弱者に対して一番身近な地域住民が自主的に行う救護活動であると考えている。予算削減は、町財政の逼迫状況の中、やむなく実施した。防災活動は、生命、財産を自主的に守ることが原点になると考える。しかし、本当に財政支援が必要と判断したときは柔軟かつ機敏に対応していくつもりである。

自然災害に対する防災対策 安全確保の基本方針は

問・昨年は台風が多く上陸し各地で水害が発生した。更に、紀伊半島や中越地方に大地震が起きて大



一般質問

議会2日目
3月4日(金)

鈴木敏夫 議員



例会
3月 定議

17年度予算編成にあたっての基本方針 また、人材育成の計画は

基金取り崩しなしの
歳入に見合った予算

問・17年度予算作成にあたっての基本方針及び重点施策また留意された点についてお聞きしたい。

答・町長 何と云っても財政問題である。国の三位一体の改革や市町村合併の推進などを考慮すると、地方への締めつけが年々厳しくなり、町の財政はますます厳しさを強いられる。そこで当面は、自立でき得る予算規模とすることが重要である。基本的には、基金の取崩しを行わない歳入に見合った歳出とすることを目標とした。その適正な予算規模を47億円に設定、この目標達成に取組んできた。第1の事務事業の見

直しでは、まちづくり指針である第4次総合計画

全体事業の抜本的見直しを行った。第2の人員費削減では、特別職給料・職員管理職手当・超勤手当などの減額をした。第3の組織の再編では、事務事業の廃止・削減に伴い、組織の再編をした。また留意した点は、できるだけ基金の取崩しをせず、この先必要な時期がきた時のために備えておきたい。なお、新たに町民に負担を頂くものも設けた。事務事業の見直しにあたっては、町民生活に直接かわらない部分から廃止、削減することとした。

問・給与及び退職金等に関する変更した内容をお聞きしたい。

答・総務課長 管理職手当20%

削減で約800万円、また超勤手当は10%削減で約200万円の節約が図れる。定年退職時の1号俸アップいわゆる特別昇給は県も廃止を決めており、町でも規則を改正することで4月から実施したい。

陳情による未整備の
路線は165路線

問・工事の執行されていない陳情件数はどのくらいあるか。古くはいつ頃か。

答・建設課長 現在、165の未整備路線がある。一番古い要望のものは平成3年度の陳情である。問・今後どのように考えていくのか。
答・町長 どこが重要か、ど

こが緊急的に必要なのか全体像をにらみながら検討したい。

基幹要員となる
職員の人材育成は

問・人材育成のための職員派遣をしているか。

答・総務課長 これまで県へ派遣していたが17年度は職員数も減り、派遣の予定はない。保育士など明和町と交流し、館林市とも職員の人事交流をしている。

問・人材は簡単に育たない、基幹要員となる人を育成していくべきと考える。また嘱託で60歳過ぎた専門家の採用をどう考えているか。
答・町長 国からの移譲を含めて人材は必要になってくる。これまで県等にも積極的に派遣してきた。17年度早い段階から人材育成に力を注いでいきたい。また技術者等の確保

にも努力したい。

指定管理者制度への
取り組みと進め方は

問・^{（注）}指定管理者制度の取組みと今後の進め方についてお聞きしたい。

答・助役 自治法の改正によつて制度が生まれた。これから総務課長を中心に管理者制度実施に向けて考えていきたい。

問・指定管理者への移行はいつごろまでにやるのか。
答・総務課長 今年の12月を目標に条例改正をした。18年3月に条例改正に伴う予算措置を、そして6月の議会にて指定管理者の議決を頂きたいと考えている。

（注）指定管理者制度
公の施設の管理に関するこれまでの「管理委託制度」が改正されたことにより、新たに創設された制度。この制度によって、民間企業やNPOなどを含むその他の団体が議会の議決を経て、指定管理者として公の施設の管理を行うことも可能。



一般質問

議会 5 日目
3 月 7 日(月)

黒野 一郎 議員



史跡・文化財めぐりを取り入れた 観光振興の考えを問う

17年度の委託料予算は
前年度とどう変わったか

の減である。

問・町の電算委託料の減額を
どのように考えているか。

答・町長 委託料を引き下げるには三つの方法がある。第1に、現在使用しているシステムを抜本的に再構築する方法。第2に、委託業者の新規参入を可能にする方法。第3に、サーバーなどの機器を委託業者が管理するといったアウトソーシング化の三つの方法を検討中である。

問・17年度委託料は前年度に
比べ、どう改善されるか。
答・町長 17年度の委託料は
約3億6,700万円で、
前年対比約6,000万
円減。率にして14・1%

シルバー人材登録会員の
仕事とモラルは

問・16年度シルバーセンター
の収入、人件費並びに事
務費等の状況は。

答・町長 総収入額で1億
1,800万円程度。就労
収入が9,600万円、
事務費収入480万円
(5%)です。それから、原
材料収入340万円、町
からの委託金収入1,2
17万円である。

問・人材センター会員の登録
方法は。

答・福祉課長 年4回発行の
社協だよりで公募してい
る。登録基準は、町シル
バー人材センター運営規
定による。
問・登録会員の仕事とモラル

はどのようなか。

答・町長 モラルの話が出た
が、非常にそのことは重
要である。信頼関係が大
事であり、仕事をお願い
する方から信頼される作
業ができるよう、今後も
十分モラル関係に配慮し
ていきたい。

小・中学校施設整備の
現状は

問・各小中学校夏場対策への
扇風機取付け工事の内容
は。

答・教育長 本会議初日の補
正予算で決定した扇風機
の設置工事は、町の規定
に基づき入札執行を行
い、これからの作業、入
札等も含め、春休みには
設置を終えたいと考えて
いる。



荘厳な雷電神社

問・手狭になっている板中体
育館倉庫増築の考えは。

答・教育長 確かに用具入れ
一カ所では収納仕切れな
い現状である。今後使っ
てないマット等整理し、
総体的に検討しながら倉
庫もしくはプレハブ対応
を考えていきたい。

雷電神社を中心とした
観光資源の活かしかたは

問・町内の神社仏閣と名の付
くものはどのくらいある
のか。

答・教育長 寺が23、神社は
77社。各神社の末社全部
を含めると212社あ
る。

問・雷電神社を中心とした町
内文化財を、どう観光資
源として活かしていく考

えか。

答・町長 雷電神社は県指定
の重要文化財であり、そ
の末社八幡宮、稲荷神社
は国指定の重要文化財で
もあることから、17年度
若干の予算付けをした。
今後、関係機関と連絡協
調しながら、きちんとま
とめてみたい。

問・我が町の今後の合併問題
は。

答・町長 本来、合併とい
うのは自分たちの町で自
主的に判断し決めること
である。町はこれから本
当に将来を見据え、合併を
考えなくてはならない。
当面の間は自立を目指し
ていくことになるが、財
政等でも極力基金等は崩
さずやっていきたい。

一般質問

一般質問

議会5日目
3月7日(月)

野中嘉之 議員



例会
定議
3月

6期目の選挙公約を 今後どのように実現するのか

今の財政状態を
どう認識しているか

問・現在の町の借金及び基金の状況、さらに17年度の予算の状況を見て、総合的に判断するならばどのような状態にあるかと思っ

ているか。

答・町長 17年度あたりがピークで、ここ2・3年が苦しい状況とされている。19年あたりには、なんとかほば心配のない状態になるであろうと考えている。またそのように努力していきたい。

問・三位一体改革というが、町民サイドから見ると分かりにくい。改革によって町がどう変わっていくのか聞きたい。

答・町長 三位一体改革は非常に分かりにくいと思っ

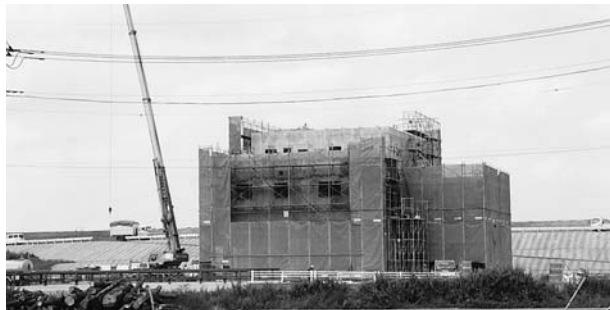
ている。一番待ち望んだ分権というが、権限移譲が十分でなかったように思う。地方が自分たちの考え方でできるといことであれば救われたが、後退してしまった。考え

方を変えて、頼みの地方交付税の総額は確保するべく全力投球したい。

岩田流通団地事業の 進捗状況は

問・国の三位一体改革で、地方交付税が年々削減されると思うが、公約をどのように実現していくのか。公約の一つ、岩田流通団地事業の推進について聞きたい。

答・町長 今一番板倉町が努力しなくてはならないのは財政問題と考え、一番



改築工事の進む第2排水機場

先に取り組んでいる。収入源を削っていかないと大変になってしまう。今、岩田流通団地計画を精力的に頑張っている。

問・岩田流通団地の現況及び今後はどうか。

答・町長 現在、用地の買収

に努力している。今後の予定は17年度に用地の買収と造成工事、18年3月を目標に誘致企業に土地引き渡し、19年度創業予定と考えている。これからの町の財政、雇用等を考えれば、何としても成功させたいので、同意されていない人については引き続き話し合いの場をつくり、私も積極的に出向いて努力していきたい。

邑楽土地改良区賦課金の 農家負担を半減に

問・邑楽土地改良区の賦課金農家の負担軽減を図る上で努力を。

答・町長 17年度中に第1・第2排水機場が改築改修される。町での管理も含め、邑楽土地改良区という話しながら何とか半減に持っていきたい。

合併問題 今後の取り組みは

問・市町村合併の今後の取り組みをどう考えているか。

答・町長 将来的には館林市、邑楽地区が一緒になることが望ましいと考えている。その場合、どういった取り組みが可能か、住民サービス面等も十分検討がなされるものと考えている。

厳しい財政状況のなか 選挙公約の実現を

問・中学生の海外派遣事業廃止等、厳しい財政状況は理解できるが、公約の実現をどのように考えているか。

答・町長 町民のために色々実行したいが、厳しい財政状況を考えると、町民にとって今、無くてもしもの、必要なものとの選択肢が生まれてくる。今回かなり思いきって減額をさせて頂いた。今後も引き続き町にとって何が必要かを模索していきたい。

自治功労者表彰



受賞

議員在職10年以上の一般表彰基準で「群馬県町村議会議長会自治功労者表彰」を、青木佳一議員が受賞されました。伝達は3月3日(木)に開催された定例議会の席上で行われました。今後とも町政発展のため、なお一層のご活躍を期待するとともに、心よりお祝い申し上げます。

全員一致で議員定数削減に同意

議員協議会

去る4月20日(水)開催の議員協議会において、近隣市町村の動向や、人口数と議員定数の関係が話題となりました。当町でも2年前に議員の定数削減を実施したところですが、更に削減を進めるべきとの意見が全議員一致し、今後定数等について検討されます。

正副委員長決まる

議会広報委員会

5月9日(月)開催の臨時会終了後、各常任委員会同様、議会広報委員会においても新たに正副委員長が互選のうえ選任されました。

委員長：石山徳司 副委員長：青木秀夫
『これからも親しみやすい議会だよりをめざします』

議会事務局職員が交替しました

職員異動

4月1日(金)付で議会事務局職員の人事異動がありました。

転出者：係長 根岸一仁(企画財政課へ)
主任 川田愛子(教育委員会事務局へ)
転入者：課長補佐兼係長 蓮見恵子(教育委員会事務局から)

可決議案

- 専決処分事項の承認について (全員一致)
- 板倉町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の制定について (全員一致)
- 板倉町美しいまちづくり条例の制定について (全員一致)
- 板倉町揚舟運航条例の制定について (全員一致)
- 板倉町課設置条例及び板倉町水道事業の設置等に関する条例の一部改正について (全員一致)
- 板倉町職員定数条例の一部改正について (全員一致)
- 板倉町個人情報保護条例の一部改正について(全員一致)
- 板倉町個人情報保護条例の一部改正について(全員一致)
- 板倉町情報公開・個人情報保護審査会条例の一部改正について (全員一致)
- 板倉町情報公開・個人情報保護運営審議会条例の一部改正について (全員一致)
- 板倉町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について (全員一致)
- 板倉町税条例の一部改正について (全員一致)
- 板倉町公民館条例の一部改正について (全員一致)
- 板倉町商業活性化資金市町村協調融資促進条例の廃止について (全員一致)
- 館林邑楽交通災害共済組合の解散に伴う事務の承継について (全員一致)
- 群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議について (全員一致)
- 平成16年度板倉町一般会計補正予算(第5号)について (全員一致)
- 平成16年度板倉町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について (全員一致)
- 平成16年度板倉町介護保険特別会計補正予算(第3号)について (全員一致)
- 平成16年度板倉町下水道事業特別会計補正予算(第3号)について (全員一致)
- 平成17年度板倉町一般会計予算について (全員一致)
- 平成17年度板倉町老人保健特別会計予算について (賛成多数)
- 平成17年度板倉町国民健康保険特別会計予算について (賛成多数)
- 平成17年度板倉町介護保険特別会計予算について (賛成多数)
- 平成17年度板倉町下水道事業特別会計予算について (賛成多数)
- 平成17年度板倉町下水道事業特別会計予算について(全員一致)

発議

板倉町議会委員会条例の一部改正について(全員一致)
行政機構改革により、水道課と下水道課の統廃合に伴い常任委員会の所管を変更するものです。

請願・陳情

町道7139号線拡幅整備について (採択)
陳情者 第1行政区長 松本 登一

通

学路・街路灯の整備で防犯を

〓 小中学校児童生徒を暗がりから守ろう 大字細谷 中田文市さん



板倉東洋大前駅から自宅までの通勤途中に、板倉ニュータウン内の街路灯を見たとき思うことですが、未だ販売されず家の無い場所に街路灯が明々と灯っています。北地区

の場合、小学校から細谷・離の通学路及び中学校から北地区への通学路など、歩道・自転車道そして街路灯設備はまだまだ十分とはいえません。最近整備された細谷地内交差点周りの道路拡張工事などが、私には理解できません。この予算を通学歩道や自転

車道の整備に使用したほうが通学児童をもつ親としては大変安心に思えます。道路や街路灯整備の管理部署及び予算、そして基準がどうなっているのか勉強不足で私にはよく分かりませんが、一日でも早い通学路整備、そして街路灯の整備をお願いします。

思

いつくまに

〓 スポーツ施設の充実を望む

大字板倉 根岸光市さん



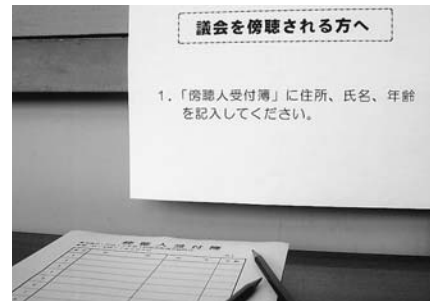
先日、県営サッカー場での試合をテレビ観戦しましたが、少し見づらい部分がありました。県営サッカー場の芝が枯れていたせいかもしれませんが、群馬県にも冬でも緑の芝のサッ

カー場が欲しいものです。他県から比べても施設の面で遅れている気がします。さて、我が町を見てみると、同じ郡内の中でも施設整備がやはり遅れています。町最大のスポーツイベントである町民体育祭も、中学校の窮屈なグラウンドでやるのが現状のようです。緊縮財政のなかでは

ありますが、スポーツ施設の充実を望みます。日曜の朝、ハウス内で仕事をしている、大蔵公園から少年野球の子供たちの元気な声や、父母たちの叱咤激励の声が聞こえてきます。スポーツは親子のふれあい、地域の人たちや友達との交流など、素晴らしいものです。

* 議会をもっと身近に *

だれでも簡単にできます
“議会傍聴”



議会の本会議は公開制となっています。会議当日、受付簿に記入していただくだけで、どなたでも自由に傍聴することができます。今度の定例会は6月13日(月)からを予定しています。

編集後記

この宇宙の中に私というものがここにある。たしかにここにある。あるということは、あらねばならぬ理由があるからだ。こうして自分が生きていることは、生きねばならぬ使命があるからだ。心の奥深く自分の存在をみつめてみる。生かされている中で生きている自分を感じる。命の尊厳さに気づく。自分の持ち前を明らかに認識し、強い使命感を持ってその持ち前を果たして生きる。それが人間らしく生きることではないでしょうか。一人一人が人間らしく生きること、明るく住みよい調和のとれた地域づくり、町づくりが必ずできることを一人一人の心に夢と希望を託します。

(編集委員 市川初江 記)